

1. 交付金事業の名称            令和6年度エネルギーに関する教育支援事業
2. 交付金事業の事業主体      青森県
3. 交付金事業の実施場所      青森県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 施設見学の実施

六ヶ所原燃PRセンター、日本原燃株式会社を見学した。

【市町村事業】（藤崎町、野辺地町、六ヶ所村）

(1) 実験器具・実験材料の整備

エネルギー変換器、火力発電モデル実験器、水力発電実験器、風力発電工作キット、手回し発電機、パワーボックスを整備し、活用した。

(2) 講演会の実施

発電・エネルギー及び放射線の学習のため、外部講師による講演会を実施した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費    2, 347, 770円

交付金充当額        2, 347, 770円

6. 交付金事業の成果及び評価

当事業の効果検証の実施に当たっては、児童生徒の学習アンケートの実施により客観的に分析している。

原子力・エネルギー分野の学習について、児童生徒の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標85%に対して実績96.4%、施設見学の実施事業が目標85%に対して94.5%、講演会を実施したエネルギー学習の実施事業が目標85%に対して実績98.6%であった。施設見学の実施事業では、丁寧な説明を受けながら原子燃料サイクルの仕組みについて学んだり、多くの生徒が興味・関心を持っていた警備体制や安全対策について、正しい知識を得たりすることができ、高い評価が得られた。実験器具・実験材料の整備事業では、児童生徒が体験的な学習活動を通して、発電の仕組みや電気をつくることの大変さ、エネルギー変換について学び、エネルギー全般について日常生活や資源と関連づけて学習することができた。今後は、年間指導計画に原子力・エネルギー関連施設の施設見学を加えたり、本事業で整備した実験器具・実験材料を計画的・継続的に活用したりすることが必要である。

原子力・エネルギーに関する教育のため、環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標９０％に対して実績９７．６％、施設見学の実施事業が目標９０％に対して実績９８．２％、講演会を実施したエネルギー学習の実施事業が目標９０％に対して実績１００．０％であった。いずれの事業においても、非常に高い評価を得ることができ、当事業の目的は十分に果たせたと評価できる。特に、外部講師による講演会は、高い専門性と分かりやすい実験機器の活用で、普段の授業とは異なる学習環境が興味・関心を高め、大きな満足度に繋がっていると考えられる。今後も、児童生徒の実態や学習状況を把握しながら、地域の原子力・エネルギー関連施設と連携したり、効果的な実験器具・実験材料を整備したりするなどして、体験的な学習活動の充実を図りながら、原子力やエネルギーに関する学習を深化することが重要と考える。